米軍のカンボジア侵攻を糾弾する！

全ての学友諸君！

南ベトナム民族解放戦線の英雄的な斗いにより、ベトナム戦争における米軍は、決定的敗北を喫した。そしてそれ以降、戦争のベトナム化と言う米軍の軍事行動面においては、ある程度の戦術後退と、米国内の反戦運動の高揚等により、一見南ベトナムからの撤退を余儀なくされた。しかしながら、今回の米軍のカンボジア国内への侵攻と一部の北爆再開は、カンボジア政変というペテン的右翼軍事クーデター者ロン・ノルの台頭により、再び侵略と反革命の軍事攻撃をカンボジアへ送り込み、インドシナ戦争にその戦争地域を拡大し、増大させ、ホーチミンルートの壊滅と弱体化とを、反米軍事ラインのテコ入れを目論んでいる。加えて、米日安保体制と自民党政府は、まさに一方的な軍事行動である米軍によるカンボジア侵攻を何の抗議もなく、正当なものとして、米・ニクソンを支持を表明したのである。

全ての学友諸君！

我々はここに、再び新たな反戦意識を持って米軍のカンボジア侵攻と最後に激ちた日本帝国主義者共の動向を鮮明に把握し、その侵攻を強く抗議の怒りを持って糾弾し、粉砕しようではないか。

PM 5:00 清水谷公園（国会デモ行動）

日本大学全学共闘会議 理工闘委

5.8 全国反戦 全国全共闘 緊急抗議行動に起て！